



# WINTER SEMINAR

2018.1.17~2018.1.18

## 主催

原子力規制人材育成事業（原子力規制庁）「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム」  
（併催）長崎大学原子力災害対策戦略本部 原子力災害時中核人材研修

## 事務局

長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学分野  
〒852-8523 長崎市坂本1-12-4  
TEL 095-819-7150 E-mail r-haya@nagasaki-u.ac.jp

# 原子力災害 緊急モニタリング WINTER SEMINAR

2018.1.17~2018.1.18  
長崎大学医学部良順会館・アイソトープ実験施設





# 開催概要

## ねらい

緊急モニタリングと連動した適切な防護措置と原子力災害医療は、原子力災害対策の両輪と言えます。原子力災害医療の現場においても、正しい被ばく線量評価につながるモニタリングは必須スキルの一つです。このセミナーでは、原子力災害医療と緊急モニタリングの接点を学び、モニタリングを武器にこの両輪で活躍できる人材の育成を目指します。

## 研修生・講師陣

研修生	所属
柴田 悠貴	北海道大学大学院 医理工学院 応用分子画像科学分野
星 信一	福島県立医科大学大学院 災害・被ばく医科学コース
佐藤 駿	福島大学 共生システム理工学類 人間支援システム専攻
小川 善紀	金沢大学 医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻
酒向 史裕	岐阜薬科大学 放射化学研究室
本田 弘文	徳島大学大学院 先端技術科学教育学部 物質生命システム工学専攻
富永 正英	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 放射線治療学分野
久家 教幸	宮崎大学医学部附属病院

講師	所属		
山下 俊一	長崎大学原爆後障害医療研究所	放射線災害医療学	教授
松田 尚樹		放射線生物・防護学	教授
山内 基弘			助教
工藤 崇			教授
西 弘大		アイソトープ診断治療学	助教
福田 直子		専門職員	
田崎 修	長崎大学病院	救命救急センター	教授
宇佐 俊郎		国際ヒバクシャ医療センター	准教授
高尾 和博	原子力規制庁	玄海原子力規制事務所	上席放射線防災専門官
前田 光哉	環境省	環境保健部	参事官



# プログラム

## 2018年1月17日（水）

時間	研修内容	講師	場所
9:00	開講、ガイダンス		アイソトープ実験施設
9:20-10:10	原子力災害医療とは？	山下 俊一	良順会館
10:10-10:50	放射線の基礎（単位、物理学的性質）	西 弘大	
11:00-11:50	放射線の基礎（生物影響）	工藤 崇	
12:40-12:55	福島県民健康調査とリスクコミュニケーション	前田 光哉	
12:55-13:55	初期対応とモニタリング	田崎 修	
14:10-16:30	基本モニタリングと緊急被ばくスクリーニング実習	山内 基弘	アイソトープ実験施設
16:30-17:20	ホールボディカウンタ見学と内部被ばく線量評価実習	宇佐 俊郎 福田 直子	内部被ばく測定室
終了後	情報交換会（自由参加）		ボンベ会館

## 2018年1月18日（木）

時間	研修内容	講師	場所
9:00-10:20	外部被ばく、内部被ばくの線量評価	松田 尚樹	大学病院4F シミュレーション室
10:30-11:30	原子力防災体制と緊急モニタリングセンターの機能	高尾 和博	アイソトープ実験施設
11:40	閉講		

